

オリパラ教育とは！？

残念ながら東京2020大会が延期となりましたが、来年度の開催に向けて、旭丘中学校では今年度も引き続きオリパラ教育に力を入れていきます。そのオリパラ教育では、共生社会の実現に向けて、

《 生徒に身に付けさせたい資質 》

- ①「ボランティアマインド」
- ②「障がい者理解」
- ③「スポーツ志向」
- ④「日本人としての自覚と誇り」
- ⑤「豊かな国際感覚」

これらの資質の育成を目指して、

《 4つのテーマ 》

- ①オリパラの精神
- ②スポーツ
- ③文化（日本文化・国際理解・交流）
- ④環境



《 4つのアクション 》

- ①学ぶ（知る）
- ②観る
- ③する（体験・交流）
- ④支える

を組み合わせ学習していきます。

大藏流狂言ワークショップ

「すぐれた文化芸術を小中学生たちに」を目的に、文化庁が主催する「文化芸術による子供育成総合事業」の一環として、狂言師大藏流狂言方の大藏基誠さんとそのお弟子さんの富田昌美さんにお越しいただき、1年生と3年生を対象に大藏流狂言のワークショップを行いました。（2年生は英語4技能検定GTEC実施のため、今回はワークショップを行うことができませんでした。）

狂言は室町時代から650年続いていて、現存するお芝居では世界で一番古いお芝居です。冒頭には「名乗りの場面」がありますが、そこには日本文化の一つである「名乗りの文化」が現れています。また、180ある演目の中には人が死ぬシーンはないとのことで、人の命を大切にする精神が宿っていることを感じます。何も無い空間で行われる狂言を観ることで、鑑賞する人の想像力も養われるのではないのでしょうか。ワークショップの中では、代表的な演目の一つである「益山」を観たり、礼儀作法の体験では、美しい正座の仕方、礼の仕方、立ち方や狂言の基本姿勢なども教えていただきました。

一流の日本の伝統芸能を観て、将来自分も芸術家になったり、また舞台を観に行ったりするきっかけになればと思います。また、日本のいろいろな文化を理解し、日本を訪れる外国人の方々にも伝えられるようになるのではないのでしょうか。なお、11月2日（月）に本校体育館で、本公演をしていただきます。

